

A group of seven students, four boys and three girls, are walking along a paved path lined with large, leafy green trees. They are all smiling and looking towards the camera. The students are wearing school uniforms: white short-sleeved shirts with dark blue trousers or skirts, and dark blue sailor-style tops with red neckerchiefs. The path is made of light-colored bricks, and the trees create a canopy overhead, casting shadows on the ground.

成蹊中学・高等学校

SEIKEI JUNIOR HIGH SCHOOL
SEIKEI SENIOR HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE 2024

成蹊は、人を創る



— 教育目標 —

本校は、「個性の尊重」「品性の陶冶^{とうや}」「勤労の実践」の三つの建学の精神に基づき、下記の教育目標を掲げ、自ら課題を発見し、解決できる「0 to 1」の発想が持てる人材の育成をめざしています。

多様性を持って
グローバルに対応できる能力と個性の育成

自立精神と自律的行動力を持って
社会に貢献できる人材の育成

リベラルアーツによる知的好奇心と
物事の本質を見極める探究心の育成

成蹊での学びから 「0 to 1」^{ゼロ トゥ ワン}の発想を 持つ人材に

校長 仙田 直人



成蹊学園には、創立者中村春二先生の「知育偏重ではなく、人格、学問、心身にバランスの取れた人間教育を実践したい」という精神が今も流れています。この達成のため、1912年の創立以来、建学の精神である「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」を尊重してきました。そして、幅広い教養を持たせるリベラルアーツを重視し、生徒一人ひとりが「本物に触れる」体験の中から、自身の「琴線に触れる」学びに出会う機会を作ってきました。

その学びを深めるため、生徒の「なぜ？」を大切にし、その疑問を解決するための探究的な学習を多く取り入れています。「個性の尊重」は、偏差値では測れない発信力やコミュニケーション力といった非認知能力を育み、解答の無い社会であっても、新たなものを創造する「0 to 1」の発想を持つことに繋がります。

また、他者の個性も理解し尊重する「共感力^{エンパシー}」も育てます。成蹊学園が「ユネスコスクール」に認定される中、サステナブルな取り組みを通して、品格と教養の両面を備えた人間性を培うことが「品性の陶冶」なのです。そして、「勤労の実践」として、学校で学んだことを実社会に結びつける教育を行い、思いやりを持って国際社会で貢献できる人材を育成しています。

中学・高校の6年間は、人生において「人を創る」大切な時期です。本校では、この時期に帰国生や留学生など多様な考え方を持つ友と出会い、グローバルな体験や幅広い学びを通して、心豊かな人間性を培っていきます。緑濃き武蔵野が残るキャンパスで、共に学びたい気持ちを持った生徒と出会うことを、心から楽しみにしています。



成蹊学園創立者 中村 春二

成蹊の 教育理念

EDUCATIONAL POLICY

偏りのないものの見方を身につけ、
確固たる信念と人格を持った人間へ。
創立者 中村春二の情熱が息づく人格教育は、
永い時を経て今なお成蹊教育の核となっています。

成蹊学園の創立者 中村春二は、明治末期の画一的な教育や教育機会の不均等に疑問を持っていました。そこで「知育偏重ではなく、人格、学問、心身にバランスの取れた人間教育を実践したい」と、1912(明治45)年に成蹊実務学校を創立。「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」という建学の精神を柱とした成蹊教育は、その使命を見失っていた当時の教育への鋭い警鐘となりました。
そのような理念の中に込められた中村春二の情熱は、時代がどのように変遷しようとも決して変わらないものであり、今日まで着実な歩みを進めてきた本校に今も脈々と息づいています。

校名・校章の由来

とう り ふ げん か じ せい けい
桃李不言下自成蹊
とう り こみち な
桃李ものいはざれども、下おのづから蹊を成す

「成蹊」という名は、この言葉に由来しています。桃や李(すもも)は何も言わないけれど、美しい花を咲かせ、おいしい果実を実らせます。すると、それにひかれて人が集まり、樹木の下には自然と蹊(こみち)ができる。桃や李は、人格のある人のたとえで、つまり、そういう徳のある人には、その徳を慕って人々が集まってくる、という意味です。



成蹊の文字を葉のついた桃の実の上に配した校章は、中村春二自らが考案したものです。時代とともに少しずつ形を変えてきましたが、「桃李不言下自成蹊」の精神を表したシンボルとして親しまれ続けています。



実務学校開校当初の授業風景



理化館での授業風景



新制中学校歴史の授業風景



旧制高等学校物理の授業風景

建学の精神

時代を超えて変わることなく受け継がれる精神

個性の尊重

自らの個性を伸ばすことはもちろん、皆が互いに思いやり、それぞれが持っている個性を認め合うこと。これは異なる文化や習慣を理解し、尊重することにも通じ、グローバル社会におけるコミュニケーションには欠かすことのできないものです。

品性の陶冶

多くの仲間と触れ合い、切磋琢磨しながら自らを高め、品格と教養をバランスよく備えた優れた人格の育成を意味しています。中村春二は「心を育てる教育」として、良いものを鑑賞すること、自然と親しむこと、科学を研究することなどを特に奨励しました。

勤労の実践

机上の学びには限りがあり、実際に体験し、本物に触れることが重要なことはいうまでもありません。人のためにはたらくことを厭わず、自らに置き換えて動くことができて初めて、誇りを持って社会の発展に貢献できる人になり得るのです。

ぎょうねん 凝念

授業の前に集中力を高め気構えを養う、伝統の精神集中法

手を組み、目を閉じ、呼吸を整え、精神を集中する。中村春二が教育に取り入れた独自の精神集中法が「凝念」です。ここには、「精神を集中させ、それを持続する習慣を養うことは教育の徹底に不可欠である」という創立者の教育理念が継承されています。現在では中高ともに朝礼で行われており心を落ち着かせ、授業への集中力を高めます。



ユネスコスクール

成蹊学園は2019年11月、パリのユネスコ本部より、ユネスコスクールとして認定されました。成蹊学園がユネスコスクールに認定されたのは、「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」という建学の精神に基づく教育実践がユネスコ憲章に通ずるものとして高く評価されたからです。ユネスコスクールに認定されたことを機会に成蹊学園はその教育理念と実践を広く国内外に向けて発信していきます。



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Member of

UNESCO
Associated
Schools

沿革

1906年 (明治39年)	中村春二 自宅に学生塾を開塾 翌年、「成蹊園」と命名
1912年 (明治45年)	成蹊実務学校創立 黙想による精神集中法「凝念」開始
1914年 (大正3年)	成蹊中学校開校
1915年 (大正4年)	成蹊小学校開校
1917年 (大正6年)	成蹊女学校開校 成蹊実業専門学校開校
1924年 (大正13年)	中村春二 死去 学園本館完成 池袋から吉祥寺に校地移転
1925年 (大正14年)	旧制 成蹊高等学校(七年制)開校 気象観測装置を設置、気象観測開始
1926年 (昭和元年)	高等学校教諭加藤藤吉の生徒指導により 気象観測法に準拠した正式観測開始 (1959年「成蹊気象観測所」設置)
1947年 (昭和22年)	新制 成蹊中学校開校
1948年 (昭和23年)	新制 成蹊高等学校開校
1949年 (昭和24年)	成蹊大学開学 セントポールズ校(アメリカ)への留学開始
1964年 (昭和39年)	小学校・中学校 海外帰国生教育を目的とする 「国際特別学級」設置
1970年 (昭和45年)	カウラ高校(オーストラリア)との 交換留学を開始
2003年 (平成15年)	カウラ高校短期留学を開始
2004年 (平成16年)	「国際教育センター」設置
2006年 (平成18年)	ケンブリッジ大学(イギリス) 短期留学を開始
2007年 (平成19年)	中学校 1クラスの少人数化実施
2012年 (平成24年)	学園創立100周年
2014年 (平成26年)	成蹊中学校創立100周年 カリフォルニア大学デービス校(アメリカ)への 短期留学を開始
2015年 (平成27年)	チョート・ローズマリー・ホール校(アメリカ)への サマースクール派遣を開始
2016年 (平成28年)	チョート・ローズマリー・ホール校(アメリカ)への 長期留学を開始 フィリップス・エクセター・アカデミー校(アメリカ)への サマースクール派遣を開始
2017年 (平成29年)	ルンステッド高校(デンマーク)、 カルマーレ国際高校(スウェーデン)への 短期留学を開始
2018年 (平成30年)	「サステナビリティ教育研究センター」設置
2019年 (令和元年)	学園「ユネスコスクール」に認定



Seikei
Days

この毎日が、
未来の礎になる。





成蹊中高の教育は
こちら



中学校のカリキュラム

POINT-1

成蹊生としての
学習習慣、生活習慣を
身につけます。

スケジュール
管理帳
『日進月歩』



POINT-2

中1では、1クラス36名で
個性を認め合いながら
協調性を培います。



POINT-3

教科内容の細分化(地理・歴史・公民、
物理・化学・生物・地学)に対応した
専門教員と学習を進めます。



成蹊中高の教育

EDUCATION SYSTEM

体験を通した学習を重視し、

本物を見て、触れて、確かめることで、自ら考える力を養います。

発育や成長に合わせたカリキュラムと、生徒一人ひとりに寄り添う指導により

自らの才能を自覚し、伸ばしていけるようにサポートします。



かっこいい
建築模型だね！



本物に
触れる教育

動植物の観察、専門機材を使用した実験、林苑や前庭を使ったフィールドワーク等、本物に触れる教育で学習を深化させていきます。

第二外国語

高校2・3の演習科目では、中国語、フランス語、ドイツ語、朝鮮・韓国語が選択できます。(希望者10名以上で成立)



成蹊の食材を使って
家庭科の授業では、春に敷地内の竹林で収穫した筍で「筍ご飯」を作ります。

帰国生 特設英語クラス

中3ではジョージ・オーウェル著『1984』を題材に、ディスカッションを通じて社会の在り方や生き方について考え、学びます。



高校のカリキュラム

高校1年

共通カリキュラムを通じ、
自らの資質や関心を
見出す力を身につけます。

共通カリキュラム

進級するにつれて
選択カリキュラムが増えていきます

英語

グレード別に2段階に分けた授業を行います。

数学

高校からの入学生と内部進学生で
クラスを分けて授業を行います。

芸術

必修選択
(音楽、美術、工芸、書道)

高校2年

文系・理系の
いずれかを選択し、
進路を具体化します。

理系コース

文系コース

選択演習(数学、外国語、芸術など)

英語

数学

グレード別に3段階に分けた授業を行い、それぞれのレベルアップを図ります。

高校3年

文系・理系の進路に合わせた
19のコースを設定。全授業の
約半分をコースごとに行います。

理系10コース

文系9コース

選択演習(数学、外国語、芸術など)

成蹊家庭科 シンポジウム

クラスで選抜された代表によるテーマ学習の発表大会を行っています。優秀なグループは外部の大会にも挑戦します。



Startup CAMP

長崎県五島市にて課題を発見し、解決策を考えるスタートアップ(0 to 1)に取り組みます。最後はコンテストに挑戦します。

学習旅行の企画

いかにワクワクさせる学習旅行計画を立てるか、チームで話し合いながらプランを提案します。



「桃李」道徳の授業

「10年後、自分が社会にどう貢献できるか」をテーマに調査やインタビューを行い、パワーポイント等を使用して作成したポスターを発表します。

企業との協働学習

2020年からスタート。マーケティングを学び、商品開発から販売までが体験できる探究プログラムです。





国語

JAPANESE LANGUAGE

深く正確な読解力を身につけ
理解し、考え、表現する力を養う

国語・
現代文

考える力を育む

多くの文章を読み、他者の意見を聞くことで新しい視点を獲得し、自身の考えを深めていくことを大切にしています。考えを表現する経験を積み重ねることで、思考の柱を形成します。

古典

慣れ親しみ、深い理解へ

中学では国語科教員が編集したオリジナルテキストを用いて代表的古典作品に慣れ親しみ、高校ではより詳細な読解を行います。作品の面白さに触れることで興味を持って読み解くことをめざします。

作文・文法

自分の言葉で表現する

中学では独立した授業として取り組み、高校でも現代文の授業を通して作品を解決し、文章にすることで力を伸ばします。正しい文法を身につけ、他者に理解してもらえる文章力を養います。



数学

MATHEMATICS

数学の本質を理解し
論理的思考力を身につける

中学

基礎学力の確実な定着をめざす

中高6年間の数学を俯瞰し、数学の本質を理解して楽しむことに留意して指導しています。そうすることで早期の段階で高校数学を理解する論理的な思考力が養われます。高校数学の一部を先取りしたり、超難問に挑戦するなど余裕を持った勉強ができます。

高校

普遍的に応用できる学力の定着をめざす

数学はそれ自体純粋に魅力的な教科ですが、自然科学や経済学などに応用できる教科でもあります。試行錯誤しながら「真理」に迫る経験は、大学入試を突破する力をつけることは勿論、将来いろいろな仕事をする上でも役に立つ力が身につきます。

社会

SOCIAL STUDIES

授業で得た知識を体系的に整理し
今ある社会の仕組みを考察する

地理

現実の社会と社会科学習を結びつける

地域社会と国際社会の現状を学びながら、知識を得るだけでなく、社会を仕組みとして理解する思考を身につけます。日本の社会、国際社会の中で自分の存在を意識することをめざします。

歴史

事象の原因やつながりを的確に捉える

現在との対話につながるように歴史を学びます。過去のできごとの因果関係をつかみながら、今ある「私たちの社会」がどのように形作られてきたのかを考察し、同時に現在を見る目を養います。

公民

社会と人間を学び生きる力を身につける

平和で民主的な社会を主体的に形成していく上で必要な知識を身につけるに加えて、現代の具体的な課題についても原理的・理念的に捉え直す論理的思考力をつけることをめざします。



理科

SCIENCE

本物に触れることで視野を広げ
幅広く自然科学の基礎を身につける

物理

実験を通して幅広く学ぶ

充実した機材を用いた多様な実験を通して、物理現象の捉え方や問題の考え方を体験的かつ体系的に学んでいきます。

化学

実験やモデルを通して抽象概念を理解する

基礎的な実験器具の扱い方から学習を始め、原子等ミクロな世界も模型を利用し、暗記に頼らず体系的な知識を獲得していきます。

生物

学園内の自然から学ぶ

緑豊かな校内の動植物に触れながら、実践的な授業を展開。遺伝実習を含め、多様な実験・観察を行い、自然科学の基礎を身につけます。

地学

好奇心に応える専門性の高さ

中学から専門の教員による授業を展開。実物に触れ、映像やパソコンを駆使して学習します。生徒自身による気象観測は長い歴史を誇ります。



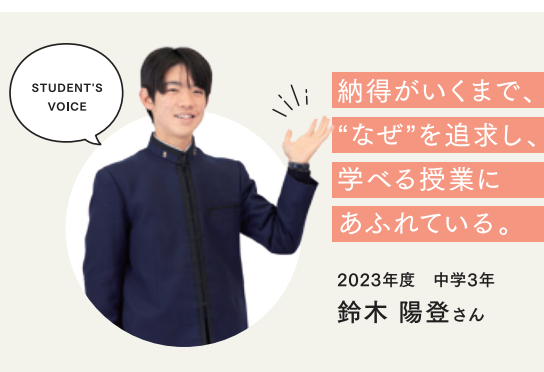
ブラマ種 カルちゃん



教科ガイド

SUBJECT GUIDE

成蹊の偏りのない学習は深い教養と
多角的な視点から物事の本質を見極める力を養います。
自らの興味・関心を発見し、
さまざまな可能性を育てます。



STUDENT'S
VOICE

納得がいくまで、
“なぜ”を追求し、
学べる授業に
あふれている。

2023年度 中学3年
鈴木 陽登さん

先生は授業中によく“なぜ”と疑い、さらにそれを生徒に考えさせてくれます。例えば歴史では暗記だけでは分らなかった昔の権力の関係について考え、ニジマスの解剖では脳の中で中脳が最も大きかったのを見て、知能が発達していないことの表れだと考え、他の部分も実際に観察したくなりました。知的好奇心、科学的探究心が刺激される授業はとても面白く、日頃は漠然と眺めているだけだった物事にも“なぜ”と疑う習慣が付き探究心を育めました。授業は先生の話を中心に進められるので、そこから要点を掴んで自分だけの工夫したノートを作るなど、取り組む“姿勢”にもつながっています。



英語 (外国語)

ENGLISH (FOREIGN LANGUAGES)

“言葉を使う体験”を重視し
将来に活かせる
語学力を身につける

中 学

4つの基本技能をバランスよく習得

一貫して音声を大切に、「聞く・話す・読む・書く」(4技能)の基礎をバランスよく身につけます。英語の発音と発表能力が向上します。外国人教師の授業が中1・2では週1回、中3では週2回あります。ことばの「やり取り」が得意になります。

高 校

英語を使いながら身につけ、大学受験にも対応

普段の授業から、外国人教師や日本人教師と英語で「やり取り」することを意識して学習を進めています。高2以降は、帰国生向け英語、基礎英会話、第二外国語(全て選択科目)を履修することもできます。変化する大学入試の新傾向に対応した力をつけます。



情報

INFORMATICS

情報技術の適切・効果的な活用を学び
主体的な情報活用能力を高める

高 校

時代の変化にとらわれない、普遍的な“情報”の知識を習得

変化の激しい情報化社会における情報モラルや著作権、コンピュータの仕組み等に焦点を当てて学習します。この学習を通じて、生涯にわたって残る教養を育てていきます。

芸術

ART

楽しく芸術に親しみながら
表現する力、創造する力を育成する

書 道

人間性を高めるために「書く」

書道を「書写」ではなく自己表現のひとつとしてとらえ、中国の古典に触れ、さまざまな表現技術を駆使して、「文字」を造形する楽しさを体験します。

美 術

絵画、版画、彫塑、デザインなどで表現力を体得

さまざまな制作を通して、創造力を高めます。高校の美術では油彩のほか、日本画、彫塑、版画などにより表現の幅がぐんと広がります。

技術・
工芸
デザイン

形の把握、技術の習得、工夫する喜び

多彩な手道具や機械類が揃った造形館で自ら製図・設計をし、基本から制作までを学びます。

音 楽

演奏から学ぶ、音楽との良い付き合い方

中学ではギターの演奏、高校では珍しいオーケストラ楽器の実習を通じて、身のまわりの音楽との関わりかたを体感しながら学んでいきます。



家庭

HOME ECONOMICS

多くの体験を積み重ね
生活を豊かに創造する力を養う

中 学

本物に触れる、生きた体験学習

頭付きの魚を捌いたり、自分の体を採寸して型紙から服を製作するなどの、本物に触れる生きた体験学習により、豊かな生活を自分の手で作り出せる実践力を育みます。

高 校

生活者として自立し、発信する力を養う

自分の将来に大きく関わるテーマについてICT機器を利用しながら探究的な学習も行います。考えたことは班で発表したりレポートにまとめるなど、論理的に表現する力を養います。



個性豊かな
仲間たちと、
尊重し認め合う
学びの場。

2023年度 高校3年
尾林 実佳さん

先生方は生徒一人ひとりの理解度を確かめながら授業を行ってくださるため、その都度確認、復習しながら着実に学習内容を身につけることができます。授業はレポート課題やグループ学習が多く、学んだことを応用したり、自分だけでは気付かない多様な考え方や価値観に触れる機会が多く整っていると思います。生徒と先生方との距離が近いので、授業だけでなく進路についての相談もいつでも親身にのってくださいます。特定の教科や部活動、学校行事など、それぞれに一所懸命に取り組んでいる個性豊かな仲間が多く、互いを尊重し認め合い、自分の興味や関心を大切に“好き”や“得意”を伸ばしながら、日々切磋琢磨しています。



興味を持って
楽しむところから
視野や思考を
広げる学び。

濱村 愛 教諭
(国語担当)

中学では、オリジナルの古典教科書を使って1年生から古典文学を学びます。教員が一方的に講義するだけではなく、古典文学であっても生徒同士の話し合いから当時の人々の感情を考察したり、調べ学習のプレゼンテーションを行っています。高校2年生の現代文では、夏目漱石の『こころ』を全読し、一つの作品に向き合うことで、読みを深め、自分の視野や思考を広げます。成蹊の本物を見て見解を広げる学びは、知的的好奇心と科学的探究心を育み、「自分はこんなことに興味があったんだ」という気づきにもつながります。自分の持つ能力は何なのか、探すお手伝いができると思います。ぜひ一緒に学びを楽しみましょう！



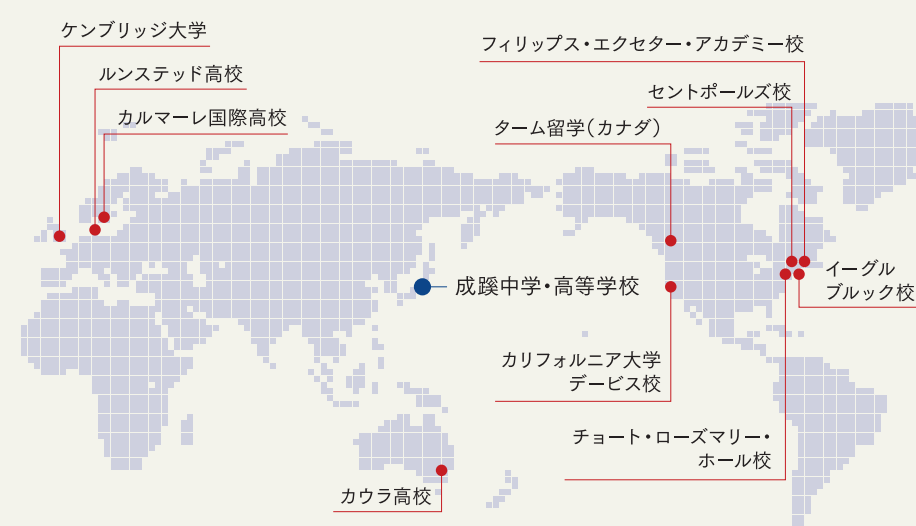
国際理解教育

GLOBAL PROGRAM

広く世界へ目を向け、異文化への理解を深め、
多様性のあふれる国際社会で活躍できる人材を育てます。

成蹊では、日ごろから多くの科目を通して国際感覚を養い、
真の国際人の育成をめざしています。ネイティブスピーカーの
教員による語学の授業から異文化への理解を深めるだけでな
く、政治経済、日本史、世界史などの科目を通じて、国際社
会を理解するために必要な近現代史の教育にも力を注いでい
ます。また、毎年多くの留学生を受け入れています。受け入れ
る留学生の存在は、海外に出たことのない生徒も異文化に触

れることができ、有形無形の異文化体験となっています。
さらに、留学制度や国際理解プログラムが充実しているのも
本校の大きな特徴です。成蹊では1935(昭和10)年に全国に
先がけ、帰国生を受け入れるための国際学級を設立しました。
現在でも、国際学級・帰国生入試などでさまざまな文化を身
につけて帰国する生徒を受け入れ、在校生にも良い刺激を与
えています。



多彩な留学プログラム

本校では、個性と教養を備え、協調性
を持ちながら自己開拓できる人材を育
成するため、早い時期から世界に目を
向けた教育を実施してきました。成蹊な
らではの留学制度の充実もそのひとつ
です。アメリカのセントポールズ校とは
1949年から、オーストラリアのカウラ高
校とは1970年から交流を開始。奨学金
付きのプログラムなど、成蹊独自のプ
ログラムが充実しています。

※最新のプログラムについては、
本校ウェブサイトをご確認ください。



アメリカ United States of America



セントポールズ校

卒業生の目覚ましい活躍

アメリカ屈指の全寮制私立高校、テン・ス
クールのひとつ。卒業生はハーバード大学、
イエール大学などの名門大学に進学し、世界
的に活躍しています。

アメリカ United States of America



カリフォルニア大学 デービス校

英語プレゼンテーション力もアップ

「英語とキャリア教育」を中心に学び、英語
でのプレゼンテーション力が鍛えられます。
2週間の短期留学を行っています。

オーストラリア Australia



カウラ高校

ホームステイプログラムも充実

オーストラリア国内でも歴史のある協定留学
制度。長期・短期の留学生はホームステイを
して、オーストラリアの生活を肌で感じます。

デンマーク/スウェーデン Denmark Sweden



ルンステッド高校 (デンマーク)

カルマーレ国際高校 (スウェーデン)

北欧の高校生と机を並べて学習

両校とも日本語コースのある私立学校で、成
蹊独自の交流校です。ホストファミリープ
ログラムでの受け入れと、夏期派遣を行っています。

アメリカ United States of America



チョート・ローズマリー・ホール校

ハイレベルなサマースクール

アメリカのテン・スクールのひとつ。サマー
スクールへの派遣と、長期留学生の派遣を
行っています。

アメリカ United States of America



フィリップス・エクセター・アカデミー校

2016年から相互交流

アメリカのテン・スクールのひとつ。日本語
を学ぶ生徒を受け入れ、本校からも同校の
サマープログラムに奨学生を送っています。

イギリス United Kingdom



ケンブリッジ大学

成蹊高校のための独自のプログラム

ケンブリッジ大学のペンブルックカレッジが
提供するサマープログラム。世界屈指の名門
校で、英語やイギリスの社会、文化を学びます。

カナダ Canada



ターム留学プログラム

語学学校と現地校に留学

3学期(1月～3月)の3か月間、学校を通じて
指定されたバンクーバー近郊の高校に通うプ
ログラムです。高校1・2年の生徒が対象です。

国際理解教育は
こちら



〔国内における国際教育プログラム〕



中学1年

イングリッシュ・シャワープログラム

中1の希望者を対象とした、2日間にわ
たり英語漬けの生活を体験するプ
ログラムです。日本とイギリスの学校、文化
や表現の違いなどを学びます。



高校
1年・2年

グローバルスタディーズプログラム

外国人ファシリテーターのもと、アメリ
カの大学生・大学院生を含む5～6名の
グループに分かれ、英語でディスカ
ッションやプレゼンテーションをします。

〔成蹊が紹介するサマープログラム〕



中学
1～3年

イーグルブルック校(アメリカ)

中学生向けのグローバル・ リーダーシッププログラム

アメリカのテン・スクールの多くの卒業
生を輩出する中学校でのサマースクール
です。中学1～3年の生徒が参加可能です。

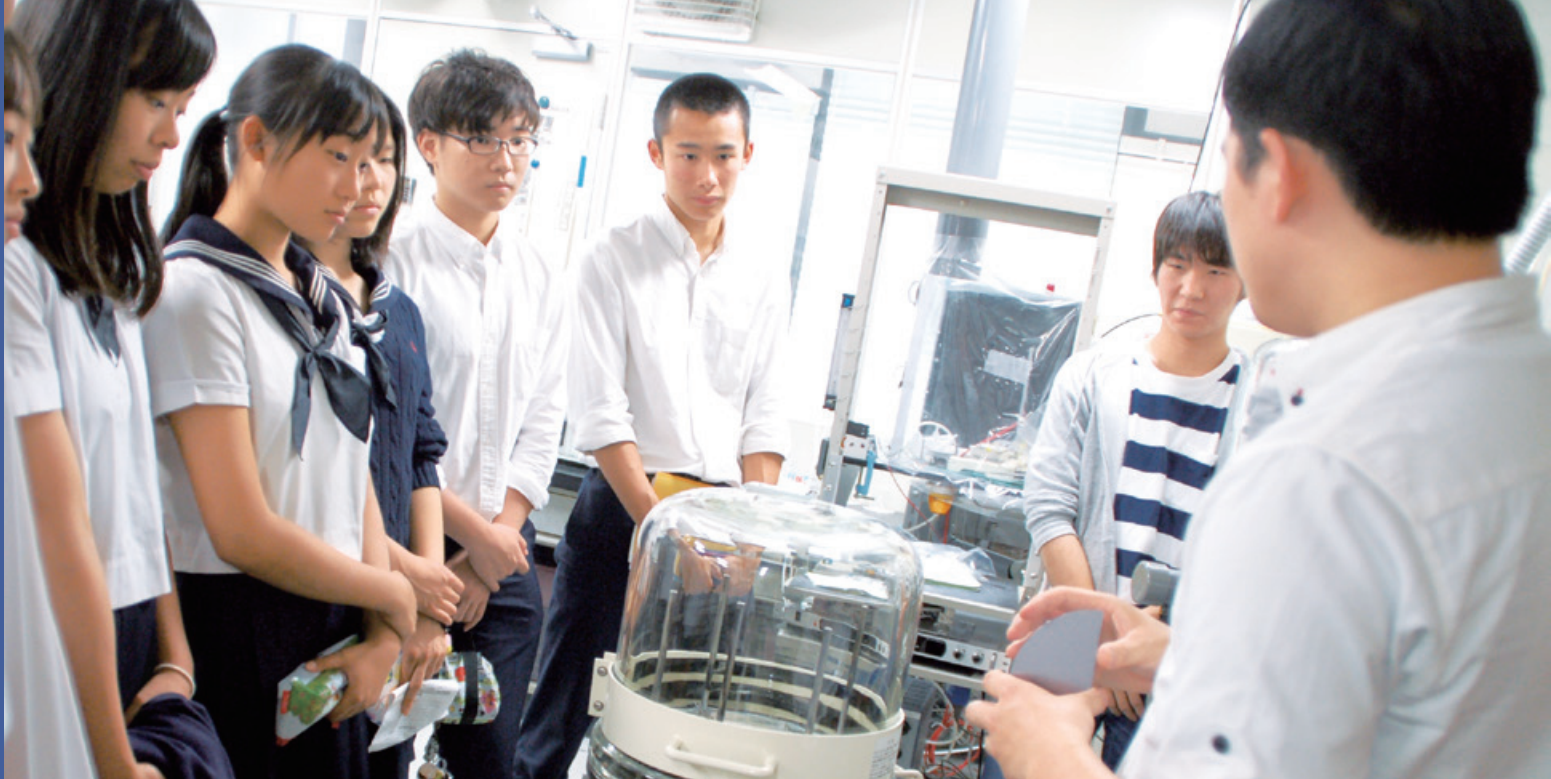
〔留学生の受入れ〕



高校のクラスに所属し、クラスの員と
して授業や行事に参加し、クラブ活動
にも加わります。

〔財団などが主催する留学プログラム〕

ロータリー、AFS、YFUの留学プ
ログラムは、本人の希望があり学校が認めれば、
留学終了後、留年せずに進級ができます。



進路・進学

ACADEMIC &
CAREER COUNSELING

才能、個性を大きく育て、進路を主体的に選択できるよう

さまざまな情報を発信しながら、目標の設定を支援、指導しています。

「将来、こんな仕事がしてみたい、研究がしてみたい」というきっかけづくりになるためにも、成蹊では「本物に触れる授業」を通じて幅広い教養を身につけ、各自の知的好奇心や科学的探究心を刺激していくことを大切にしています。成蹊大学教員による講演

会や模擬授業、理工学部の実験室見学会とともに、医歯薬・芸術分野を含む多方面で活躍する卒業生の協力により、進路・進学についての講演会や相談会、企業見学など、生徒自身の主体性を醸成させ、継続する力となる講座を展開しています。

上級TOEFL®講座、SAT、 アカデミックスキル講座

海外での授業の受講や進学をめざす生徒向けに、上級TOEFL®、SAT、アカデミックスキル講座を実施しています。アメリカ人のアカデミック・アドバイザーが担当し、指導しています。

B案



探究学習

協力企業との共同ワークで主体的な学びや表現する力、協働する力を高めるプログラムです。希望者を募り、商品デザインなどの課題や、アントレプレナーシップの一環であるスタートアッププログラムに取り組みます。

成蹊大学との連携(高大連携:高3年)

ワンキャンパスという環境を活かし、研究室見学会や講演会を実施。高校3年では大学の正規の授業を受講でき、成蹊大学進学後には単位が認定される制度もあります。



成蹊大学ゼミ体験 (中大連携:中3年)

各分野の最先端の学問に触れる大学の学びを中学生のうちから体験することで、自らの将来や進路を考える機会としています。



論理コミュニケーション講座

コミュニケーションも論述力も、論理的思考に支えられています。高1では論理的思考を進めるためのルールを学び、高2では自身のキャリアをテーマにして“探究”しながら、それぞれ実際に文章を書いていきます。



中1桃李プレゼン大会

桃李(道徳)では各学年のテーマに沿って、グループまたは個人で探究活動を行い、答えのない問いについて考えます。



自習室

高校生が自由に使える自習室。このほかに進路相談室、図書室、職員室などにも自習スペースがあります。

成蹊の進路指導に
ついてはこちら



進学について

成蹊大学への内部推薦制度

例年、約30%の生徒が成蹊大学への内部推薦を希望し進学しています。内部進学のためには、3年間の成績と出席状況が一定の条件を満たす必要があります。高校生活にきちんと取り組んでいれば条件をクリアすることは難しくありません。また、成績上位者には、内部推薦の資格を持ちながら外部大学の受験が可能な内推併願制度もあります。



成蹊大学

外部大学への進学

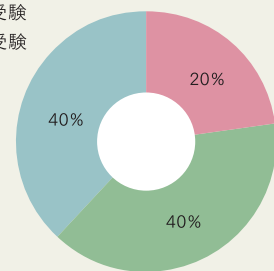
近年、約70%の生徒が成蹊大学以外の大学への進学をめざしています。成蹊高校での学習内容は、大学受験にも十分対応しています。本校では一人ひとりの志望を尊重しながら進路相談を行い、大学・学部を選択や受験に向けての対応をしています。また、指定校推薦を含む学校選抜型入試や総合型選抜などによる他大学進学の手道もあります。

2023年度
指定校推薦
依頼実績

慶應義塾大学／早稲田大学／上智大学／立教大学／
東京理科大学／中央大学／国際基督教大学／北里大学(医)／
獨協医科大学 など

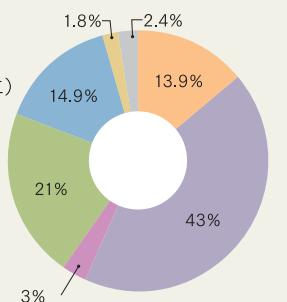
2022年度 高3生の文理別割合

■文系内推
■文系受験
■理系受験



2023年度入試 志望系統別

■人文科学系
■社会科学系
■国際系
■自然科学系(理工)
■医歯薬獣医系
■芸術系
■その他



2023年度入学者選抜 大学合格実績

2023年3月27日付

国公立		私 立	
東京大学	3	上智大学	31
京都大学	2	早稲田大学	18
東京工業大学	1	明治大学	31
北海道大学	2	中央大学	22
東北大学	2	立教大学	27
東京外国語大学	1	青山学院大学	12
東京農工大学	2	慶應義塾大学	26
一橋大学	1	東京理科大学	11
千葉大学	2	法政大学	22
横浜国立大学	1	成蹊大学(内部推薦併願含む)	116
旭川医科大学	1		ほか
富山大学(医)	1	医学部医学系	
信州大学(医)	1	昭和大学	3
広島大学	1	日本大学	2
電気通信大学	1	順天堂大学	1
東京学芸大学	1	北里大学	1
	ほか	日本医科大学	1
合計	25名	聖マリアンナ医科大学	1
		ほか	ほか
		合計	13名
		歯/薬/医療/獣医系	
		東京薬科大学	3
		北里大学(薬/獣医)	2
		杏林大学	1
		日本歯科大学	1
		東京理科大学(薬)	1
		日本赤十字看護大学	1
		ほか	ほか
		合計	17
		国際教養系	
		国際基督教大学	6
		上智大学(国際教養)	4
		早稲田大学(国際教養)	3
		立命館アジア太平洋大学	1
		法政大学(グローバル)	1
		合計	15

成蹊での 学びと経験が 「今」に つながっている

多くの仲間と関わり

互いの個性を認め合いながら

自ら考え行動する。

成蹊での学びと経験が

多様な将来像へつながっています。



森川 麗 さん
小～高 2004年卒

東京医科大学医学部卒
慶應義塾大学大学院
医学研究科博士課程修了
慶應義塾大学病院勤務
消化器内科医

知性と個性を育む学び

受験勉強だけではない、
これからの人生に役立つ学びがある。

成蹊は生徒の自主性を重んじ、自由に学ぶことができるのが魅力の1つです。蹊祭では、有志の仲間と和太鼓の公演のためにひっそりと練習をしていたのは良い思い出です。受験用の小論文が苦手だった私を先生が特訓してくださいました。先生と生徒の距離が近く、質問しやすい環境のため、学校で丁寧に指導していただけたことが、一番力がついたと今でも感謝しています。幅広い教育を受けるため科目が多く当時は大変でしたが、現在は、専門性の高い職業であるが故、広い視野が求められ、視野が狭くなりがちな点を補ってくれていると感じています。

強い精神力を養う伝統

社会に出て気づくのは、
成蹊生の精神力の強さ。

個性を重んじる教育が、個性豊かな仲間とめぐり合わせてくれました。仲間と共に大きな目標を掲げ、それを目指し努力することは何物にも代え難い尊さがあり、これを超える喜びはありません。中高6年間所属していた硬式テニス部で得た経験が、何事にも挑戦する気持ちの原動力になっています。成蹊生には毎朝行う凝念や、体育の授業の長距離走を通じて養われる共通の精神力の強さを感じています。弁護士という職業柄か特にそう感じます。成蹊で学んだことは盤石な人生の基礎を築き、生涯大切にできる仲間と出会えると思います。



宮本 武明 さん
中～高 2007年卒

慶應義塾大学法学部卒
慶應義塾大学法科大学院修了
弁護士
株式会社THE LEGAL 代表



宮崎 愛子 さん
中～高 2012年卒

慶應義塾大学大学院
法学研究科政治学専攻・
サラゴサ大学大学院(Spain)・
グラナダ大学大学院(Spain)修了
外務省 外交官
(在キューバ日本大使館勤務)

グローバルな体験あふれる留学

自分の心に従った決断を尊重し、
見守ってくれる校風。

入学当初より交換留学をしたいと思っており、AFSのプログラムを通じてデンマークへ1年間の交換留学をしました。言語も文化も全く知らない環境に飛び込み、現地校に通ったことは、自分の世界を広げ、その後の進路や今の仕事にも繋がる経験となりました。実はこの留学、学内選考の結果、留学を諦めかけていたところ、先生の助言もあって見つけた留学先でした。成蹊には、生徒の可能性を摘まず、背中を押し、最後はそれぞれの決断を見守ってくれる空気があります。自分で考える力を身につけ、自由に生きていく姿を在学中も卒業後も見守ってくれる成蹊で過ごした日々は、かけがえのない財産です。

ワンキャンパスならではの環境

自分の大学生像がイメージしやすい
ワンキャンパスの良さ。

成蹊の先生方は生徒のやりたいことに対し「指導」ではなく、「選択肢を与えてくれる」というような立ち位置で生徒がチャレンジしたいことや取り組みを見守ってくださいました。このような環境にいたことで、社会に出てからも恐れることなく自ら考えて行動する力を得られ、主体的に会社組織の一員として貢献できていると思います。高校3年の時に、大学では統計学を学びたいと思い、成蹊大学理工学部で統計学を扱う研究室の教授に話を聞きに行き「ここで学びたい」と進学を決意。日常的に大学生の姿を見ることで将来のことを自分で考えるきっかけになり、自分のやりたいことを考えて進路を決められました。



小野塚 健 さん
高～大学 2014年卒

成蹊大学理工学部卒
東京工業大学社会理工学研究科修了
三菱地所株式会社勤務



水野 伶佳 さん
小～高 2009年卒

早稲田大学国際教養学部卒
グーグル合同会社勤務
ジュエリーブランドの立ち上げ・
海外基礎化粧品代理販売

仲間との絆を深めた部活動

仲間のために、誰かのために、
自ら考えて行動する大切さ。

高校から始めたバレーボール部では選手としての活躍が難しかった私は、試合では特にチームのために何ができるかを考え、行動しました。チームの応援や雰囲気づくり、For the Teamという精神はその後の人生にとっても影響しました。現在の仕事でも、この精神や行動を大切にしており、相手が求めていることに対して的確な提案や実施に向けたサポートができるよう心掛けています。また、副業が認められている環境の中で、ジュエリーブランドを立ち上げたり、基礎化粧品の販売を手掛けたり、それらの仕事に共通しているのは、人を応援し、誰かのために行動するFor the Teamの精神が息づいていることです。

さまざまな挑戦が可能な教育

幅広い教養教育。
さらに留学と大学受験が両立できる。

高2の時に1年間オーストラリア留学を経験しました。帰国後は先生方が個別の質問に対応してくださる等のサポートで受験勉強に打ち込むことができ、東京大学文科二類に現役で合格しました。教科の枠に囚われない多様な考え方や体験、ディスカッションをする機会がたくさんあったことで、自らの興味を追求できました。現在の仕事では複雑な契約書を読解する論理性や、事業採算性を吟味する数理的素養が必要とされますが、そうした幅広い技能を獲得する土台となる知識は、文理を問わずさまざまな分野を学習する成蹊の教養教育によって培うことができたと思います。



黒木 壮太 さん
中～高 2017年卒

東京大学経済学部卒
株式会社
国際協力銀行(JBIC)勤務



近澤 良 さん
小～大学 2008年卒

成蹊大学*工学部卒
(※2005年に理工学部へ改組)
Autify, Inc.勤務
CEO / 共同創業者

自由な校風の中で育む自立精神と自律的行動力

目標に向かって進み続ければ必ず到達できる。
諦めない精神力を育んだ多くの機会。

成蹊は、夏の学校、マラソン大会などの行事やクラブ活動など、諦めない精神力を育む機会が多く、それが大きな魅力です。また、自由な校風の中でもそれぞれが勉学に励むことが前提にあり、切磋琢磨できる環境が非常に良かったです。私は、大学卒業後、グローバル市場で戦うビジネスを作り上げることが目標とし、3カ国でエンジニアとして腕を磨いた後、アメリカで会社を創業しました。これまで全てが順風満帆ということはありませんが、成蹊で積み重ねた一つひとつの出来事が、アントレプレナーシップとしての今に繋がっていると感じています。



入学式

式典が行われる
本館は成蹊学園の
シンボル。



ピーチくん

成蹊の名の由来
「桃李不言下自成蹊」の
ことわざにちなんだ
マスコットキャラクター

年間行事

SCHOOL EVENTS

力を合わせて行事を作り上げ、体験を通じて本質を捉える目を養う。
周囲との関係を築きながら、心と体を大きく成長させます。

Event Calendar

*は希望者のみ
★は中学・高校合同開催

中 学

- 入学式
- 始業式
- オリエンテーション
- 防災訓練
- 新入生歓迎会
- 授業見学会

- 体育祭
- 遠足
- 中間テスト

- ★文化部発表会
(6月展)

- 期末テスト
- 夏の学校(1・2年)
- 終業式
- グローバルスタディーズ
プログラム*

- ★カウラ高校
短期留学(3年)*

- 始業式

- ★蹊祭(文化祭)
- 中間テスト
- 修学旅行
- 防災訓練

- 生徒会役員選挙

- 期末テスト
- 終業式

- 始業式
- ★文化部発表会
(1月展)

- イングリッシュ・
シャワー(1年)*
- ★留学体験報告会*

- 学年末テスト
- 合唱祭
- 卒業生歓送会
- 終業式
- 卒業式
- ★UCD短期留学(3年)*

4

APRIL

5

MAY

6

JUNE

7

JULY

8

AUGUST

9

SEPTEMBER

10

OCTOBER

11

NOVEMBER

12

DECEMBER

1

JANUARY

2

FEBRUARY

3

MARCH

高 校

- 入学式
- 始業式
- オリエンテーション
- 防災訓練
- 新入生歓迎会

- 体育大会
- 生徒総会
- 中間テスト
- 遠足

- ★文化部発表会
(6月展)

- 期末テスト
- 終業式
- 学習旅行(2年)*
- ケンブリッジ大学
短期留学*
- グローバルスタディーズ
プログラム*

- 学習旅行(2年)*
- ★カウラ高校
短期留学*
- 北欧短期留学*

- 始業式
- 体育大会

- ★蹊祭(文化祭)
- 中間テスト
- 防災訓練

- 名人会

- 期末テスト
- 終業式
- 学習旅行(2年)*

- 始業式
- ★文化部発表会
(1月展)

- マラソン大会(1・2年)
- ★留学体験報告会*

- 学年末テスト
- 卒業式
- 終業式
- 学習旅行(2年)*
- ★UCD短期留学*



修学旅行

成蹊が重視している体験学習のひとつです。京都・奈良に行き、いろいろな教科で事前に学習した内容を実際に体験。本物に触れることで、知的好奇心を高めます。



夏の学校

本物に触れながら「自分で考える力」を身につけていく体験学習の中でも、特に大自然に親しむことができる夏の学校。自然観察や仲間づくりを行います。



北海道



島根県 海士町

学習旅行

高校で行う学習旅行は、一般的な修学旅行とは違います。生徒と教員が一緒に企画し、少人数・希望者参加の形で実施します。夏休みや冬休みに、海外も含めて合計8つほどのコースを設定。貴重な体験を通して誰もが大きく成長していきます。

体験を通して
成長するよ。



ピーチどん

マラソン大会



国営昭和記念公園のコースを走ります。持久走に取り組んできた成果を発揮して、それぞれのベストを尽くします。

卒業式





● 剣道部 中 高



● 硬式テニス部 中 高



● サイクリング部 高



● サッカー部 中 高



● 山岳部 中 高



● 柔道部 中 高



● 水泳部 中 高



● スキー部 高



● バスケットボール部 中 高



● 卓球部 中 高



● ソフトテニス部 中 高



● バドミントン部 高



● バレーボール部 中 女 高



● 野球部 中 高



● ラグビー部 中 高



● 陸上競技部 中 高

一生懸命仲間に出会えるよ！

CLUB ACTIVITIES

クラブ活動

放課後の時間を有意義に使い、
心身を鍛錬するクラブ活動。
目標をもって夢中になれる場所が
きっとみつかります。

※一部のクラブを除いて活動は中学・高校別々に行います。



● イラスト漫画部 中



● 英語部 中 高



● 演劇部 中 高



● 科学技術部 中



● 家庭部 中



● コーラス部 中 高



● 自然科学部 中



● 社会探検部 中



● 写真部 中 高



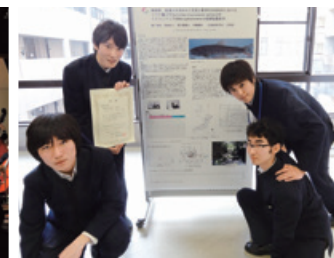
● 書道部 中 高



● 吹奏楽部 中 高



● スtrings部 中 高



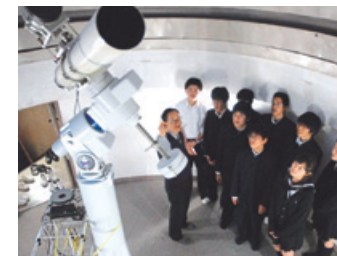
● 生物部 高



● ダンス部 中 高



● 鉄道文化研究部 高



● 天文気象部 高



● 美術部 中 高



● 文芸部 高



● 料理部 高

〔生徒会の活動〕

生徒の自発的な活動の中心となっているのが生徒会です。生徒が学校に愛着を持って取り組み、協力する活動の場として大きな役割を担っています。東北の復興支援など、社会貢献にも積極的に取り組んでいます。

中学生徒会



蹊祭(文化祭)で行った「防災意識」を広めるためのプレゼンクイズ



目安箱に寄せられた生徒の声に、楽しい一言を添えて可視化

高校生徒会



2011年から続く東北復興支援活動



FM西東京で生徒会とスクールダイバーシティの活動をアピール

ONE DAY

高校生のある1日を見てみよう！



8:10 登校 8:15 朝礼



吉祥寺駅からバスに乗って5分で学園正門に。そこからけやき並木を数分歩いて到着。8:15から朝礼。「凝念」で心を落ち着かせ、集中力を高めます。

8:30 午前の授業



月曜日なら1、2時限は教室。3時限目の化学は理科館に移動。成蹊の理科は、実物や現象を実際に見たり(観察)、体験(実験)することを重視しており設備の整った理科館で授業が行われます。午前は4時限目まであります。

12:20 昼休み

教室でお弁当を開いたり、中高中央館内に約300席ある高校食堂で昼食。食後の自由時間は仲間と楽しく過ごします。



13:10 午後の授業



5、6時限が午後の授業。月曜は英語と保健体育ですが、水曜日の芸術の授業では、美術・工芸は造形館、書道・音楽は特別教室棟で行います。

15:00 放課後



6時限目終了後に再び教室に集まり、終礼が済んでから部活動となります。1年生の部活参加率は8割以上。学年を超えた交流が盛ん。下校は18:30(4～10月)、17:30(11～3月)です。



櫟並木

五日市街道から中高門まで続く並木道で、四季折々の表情が楽しめます。この櫟並木は現在、武蔵野市の天然記念物に指定されているほか、「新東京百景」や「残したい日本の音風景100選」にも選ばれています。



1 中学ホームルーム棟

床など建物の多くに木材を使用した温かみのある校舎です。



■フリースペース

1学年全員が集まれる広さで同じ学年の生徒同士で互いの顔が見える、コミュニケーションを図るスペースです。



■ホームルーム教室

各教室には、大型ディスプレイやプロジェクターを設置。



■中学生徒ホール

放課後には仲間と勉強をしたり、生徒が自由に過ごせるスペースです。



■分割教室

学習経験別に分かれて行う英語の授業など教育の特色でもある多様な授業形態に対応しています。

施設紹介

CAMPUS FACILITIES

- | | | |
|-------------|------------|--------------------------------|
| 1 中学ホームルーム棟 | 7 中高グラウンド | 12 野球場 |
| 2 高校ホームルーム棟 | 8 中高テニスコート | 13 けやきグラウンド
(400m競技場・ラグビー場) |
| 3 中高中央館 | 9 大学テニスコート | 14 サッカー場 |
| 4 理科館 | 10 中高第1体育館 | 15 ハンドボールコート |
| 5 造形館 | 11 中高第2体育館 | 16 北プール |
| 6 特別教室棟 | | 17 気象観測所 |

※ 9 12 13 14 15 16 17 は学園共用施設です。

五日市街道



■フリースペース

ガラスが多く使用され、明るく開放感にあふれたコミュニケーションスペースです。



■ホームルーム教室

各教室には、大型ディスプレイやプロジェクターを設置。



■進路指導室

大学入試や模擬テストなどに関する資料が取り揃えられており、進路指導のためのスペースも充実しています。



■合同教室

2クラス合同の授業などで使用される教室です。



2 高校ホームルーム棟

進路指導や個人面談のためのスペースも充実。機能性あふれる校舎です。

13 けやきグラウンド



人工芝が敷き詰められたグラウンドです。ラグビー場を兼ねた400mトラックは、授業やクラブ活動、試合などに使用されています。

8 中高テニスコート



中高専用のテニスコートは、全部で5面。人工芝なので天候に左右されることなく、ボールを追うことができます。

12 野球場



両翼90m、中堅115mの球場で、外野には鮮やかな天然芝が植えられています。中高・大学の野球部が使用しています。



3 中高中央館

最新の教育機器を導入し、充実した教育環境を誇っており、図書室・高校食堂も完備しています。



■高校食堂

約300席の食堂です。メニューも多彩で、栄養バランスにも配慮しています。



■コンピュータ教室

48席のコンピュータ教室が2室あります。教材提示用サブモニターを生徒2人に1台設置しています。



■高校図書室

中高合わせて16万冊の蔵書を誇る図書室。自習のスペースとしても利用されており、留学生向けの図書、充実した映像資料が特色です。



■中学図書室

2割を占める帰国生向けの英文書籍や、『手塚治虫全集』をはじめとするコミックの充実が特色です。

5 造形館

造形館では、生徒自ら意匠し、つくり出すことをテーマに授業が行われます。中学校の技術・美術、高校の美術・工芸デザインの授業に使われます。



■技術室

木工、製図など技術や工芸デザインの製作教室として使われています。



■美術室

油彩や日本画、各種版画制作など、美術のアトリエとして使われています。



■天体ドーム

理科館屋上の天体ドームには屈折望遠鏡が設置されており、野外観察会や皆既月食のオンライン中継などにも使われています。



■剥製・標本

1,000点を超える貴重な剥製・標本があり、授業で積極的に活用されています。

4 理科館

成蹊の伝統である「実験実習重視」を象徴する、理科教育のための施設。各科ごとの講義室や実験室を備え、屋上に天体ドームを設置しています。理科の授業は全てこの理科館で行われます。



■物理

実験室2室、講義室1室、準備室2室を備え、2名の実験助手の補助のもと豊富な実験実習を行っています。



■生物

豊富な実験観察器具および生物標本を備えており、また、校内の豊かな自然が直接授業に利用されています。



■化学

本格的な薬品庫を備え、数多くの実験・観察を中心とした授業を行っています。



■地学

旧制高校時代から収集されている地学標本には貴重なものが多くあります。

6 特別教室棟

1学年全員が収容可能な大教室をはじめ、芸術・家庭科教育のための施設が充実しています。放課後はクラブ活動でも活用されています。



■大教室

舞台と映写設備が付設した施設で、学年ごとのオリエンテーションや講演会、クラブ活動の発表会、日常の部活動などに利用されます。



■調理室

9台の調理台および試食用のテーブルが設置されています。調理に関する本も充実しています。



■音楽室

大型スクリーンを備えた大小2つの音楽室では、オペラ・オーケストラなどの映像作品も鑑賞できます。



■書道室

半切作品を書くことができる大きめの机に、端溪硯・書架・墨床が備えられています。

成蹊の制服

中学、高校ともに詰め襟、セーラー服です。

2022年度からセーラー服のスラックススタイルも導入されました。

セーラー服のスカーフは、中学はえんじ色、高校は黒色となっています。中学には指定のセーターもあります。



中学 冬服



中学 夏服



左胸に校章の刺繍が入っています。

中学セーター



中学、高校ともにセーラー服の襟には桃の刺繍があります。



高校 冬服



高校 夏服

〔 受験生と保護者のみなさまへ 〕



PARENT'S VOICE

充実した環境で出会い、育まれる絆は、生涯にわたる財産となっていきます。

父母と教師の会(PTA) 川口 玲奈さん

生徒たちは、先生方やさまざまな方々のサポートのもと、勉強や部活動、校内外の行事を通じて互いを認め合いながら尊重し、力を合わせることで日々伸びやかに学校生活を送っています。そして、その中で培われる人と人との絆、人格の育成こそが大きな魅力です。ここでめぐり会えた仲間と共に、どんなときでも協力し、助け合い、成長しながら毎日楽しく学校生活を送っていることを親としてとてもうれしく思います。



STUDENT'S VOICE

個性の大切さを知り共に成長する学び

2023年度 中学3年 大澤 英佳さん

成蹊には、力が豊かに育つ環境が整っています。充実した施設もその一つですが、何よりも日々の学校生活で先生方が生徒の個性を尊重してください。生徒も色々な考え方を認め合うことで多様性を養い、それを様々な場面で発展させています。また、本物に触れる機会や実際に体験できるプログラムもあります。もちろん部活動も盛んです。自分らしくを大切に、仲間と一緒に成長できる学校、それが私たちの成蹊です。



STUDENT'S VOICE

生徒が主体的に動き見守ってくれる自由な校風

2023年度 高校3年 藤井 健心さん

成蹊では、さまざまな行事で生徒が主体となって計画を立て運営を行います。私自身、運動会委員会の副委員長として体育大会を運営し、一から物事を作り上げることの大変さや、成功した時の達成感を学び、かけがえない体験となりました。また授業では一般の教科書だけではなく、独自の教材や先生方の経験などをもとに行われており、とても个性的で、授業を通し物事を多角的に見ることができるようになったと感じます。

アクセス



■ JR中央線・総武線 ■ 京王井の頭線

吉祥寺駅

北口1、2番乗場より関東バス ※すべてのバスが停車します
「成蹊学園前」下車、バス停より徒歩8分

■ JR中央線・総武線

三鷹駅

北裏、武蔵関駅、田無橋場、柳沢駅行
(北口乗場より関東バスー鷹01・02・03、吉40)
「緑町住宅」下車、バス停より徒歩10分

■ 西武新宿線

西武柳沢駅

吉祥寺駅行(関東バス)
「成蹊学園前」下車、バス停より徒歩8分

武蔵関駅

三鷹駅行(関東バスー鷹02)
「緑町住宅」下車、バス停より徒歩10分
南口下車、徒歩20分

■ 西武池袋線

保谷駅

吉祥寺駅行(西武バスー吉63)
「慈雲堂前」下車、バス停より徒歩10分

吉祥寺駅行(西武バスー吉66)
「武蔵野第四小学校」下車、バス停より徒歩10分

大泉学園駅

吉祥寺駅行(西武バス)
「武蔵野第四小学校」下車、バス停より徒歩10分

※バスは時間帯によって本数の少ない場合があります。お確かめの上ご利用ください。



<https://www.seikei.ac.jp/jsh/>

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-10-13

TEL:0422-37-3818 FAX:0422-37-3863 E-mail:chuko@jim.seikei.ac.jp



2023.04.19,000